

## 文化庁在外派遣研修員による講演

# 「ベルリンのダンスおよびアート環境について」

日時：2014年10月13日（月）10：40～12：10

会場：お茶の水女子大学 本館 306 教室 **聴講無料（事前申し込み不要）**



撮影：Yuko Sasaki

### 講師プロフィール：

前納依里子 Maeno Yoriko

（ダンサー・振付家・演出家）

14歳よりバレエとジャズダンスを始め、19歳よりショービジネスの世界で活躍。お茶の水女子大学（舞踊教育学コース）でコンテンポラリーダンスや即興と出会う。加賀谷香・二見一幸らに師事すると同時に自身の創作活動を始め、クラブ・美術館など様々な場所で活動を展開する。お茶の水女子大学大学院修了（2011年9月）の後、2012年より自身のカンパニーを立ち上げ、ジャンルを横断した総合的舞台づくりに取り組んでいる。2013年9月より文化庁在外派遣研修員として1年間ベルリンに滞在。研修中はベルリン、インド2都市で作品発表やワークショップを行った。

前納依里子さんは、2013年9月より文化庁在外派遣研修員として1年間ベルリンに滞在され、研修中に、ベルリンとインドにて作品の発表やワークショップを行ってこられました。

本講演では、文化庁研修の1年間でふれたヨーロッパやインドのダンス・芸術事情を始め、人々の生活や文化まで、リアルな体験を対話などの形式もとりながら、お話ししていただきます。参加者の方々と共に、日本のダンスや芸術環境の未来について前向きな議論ができる場にしたいと考えています。

ダンス関係者だけでなく、他ジャンルの芸活動に関わる方々や、アートマネジメントにご興味のある方の参加もお待ちしています。

**\* LA 科目「舞踊における色・音・香」の履修者は、本講演に出席し、レポートを提出することにより、授業の出席として認められます。**

写真（右）：メモリの  
童話集第2回本公演  
「UTOPIA」  
（2013年8月）  
撮影：Koji Iijima



問い合わせ先：お茶の水女子大学文教育学部芸術・表現行動学科舞踊教育学コース准教授 中村美奈子  
nakamura.minako@ocha.ac.jp